

“ 自転車事故防止の一声を ”

## ～小さな自転車 大きな注意で 事故防ぐ～

重大事故の中で、自転車との事故が目立っています。  
本年度上半期に発生した死亡事故5件のうち、自転車が2件関係しています。  
事故の形態を見ますと、

自転車を追い越し時、接触・転倒させ轢過  
車道に飛び出してきた自転車と衝突  
渋滞車両の間から横断してきた自転車と衝突  
運転席のドアを開けたとき、自転車と接触

等、中には高齢者や子どもの場合に予測を超えた運転行動するケースも目立っています。

運行管理に当たる皆さんは、自転車事故は死亡等重大事故に直結し、ドライバーをはじめ事業所や関係者に大きな損害をもたらすことを再認識の上、自転車の動きに警戒させるための“一声”を積極的に掛けていただき、全員が無事故で帰社できるよう、ご配慮をお願いします。

### <自転車事故防止の声掛け例>

#### 安全な間隔を取って走行

～自転車を追越すときは、風圧や驚いて転倒しないよう十分な間隔を取り、速度を落として側方を通過する。

#### 「特異行動」を見落とさない

～自転車乗用者が歩道上を走行中、「後方を振り返った」「車道際に寄った」などの特異行動は飛び出しの合図。行動を見落とさないように注意する。

#### 「かもしれない」運転の徹底

～渋滞場所を走行するときは、「渋滞車両の間から自転車が飛び出してくるかもしれない」等、危険を予測し速度を落として運転する。

#### 後方の安全確認の徹底

～降車前に、必ずサイドミラーや自分の目で後方の安全を確認する。  
また、助手席の乗員が降車時も、後方の安全確認を徹底するよう指示する。